放課後等デイサービス ぽじてぃ 支援プログラム			作成日 2025年2月10日		
法人理念	笑顔・感謝・共生 事業所理念 みんなでできたを増やして自信につなげる		こつなげる		
支援方針	一人ひとりの特性や課題を見つめ楽しく支援を受けられる環境を創造します。利用しやすく、参加しやすい活動を提供 し、ご家庭以外で安心して過ごせる大人と居場所となるよう支援してまいります。また、社会自立に向けて少しでも一人 でできることが増えるように支援してまいります。				
営業時間	9:00~18:00 金・日	・祝定休	送迎の有無	あり(送迎軍	色囲があるので要相談)

本人支援	支援内容(5領域)				
十八又汲	1 334 1 34 1 34 1 34 1 34 1 34 1 34 1 3				
健康・生活	○構造化を意識した部屋のレイアウト お子さんたちがわかりやすいように絨毯の色を4色に分け、活動スペースを示しています。 日直制度を実施し、お子さん達に会の進行をしてもらいます。 ○食事・排泄の基本的な生活リズムを身に着ける支援 食具の使い方、排泄トレーニングの実施				
運動・感覚	○姿勢の保持 椅子や机を使用し、着席時の姿勢保持の練習 体操・サーキットトレーニング 未就学児さんは体の使い方を習得するため、定期的に行っています。 ○聴覚過敏なお子さんへの配慮 イヤーマフの使用や、場所移動等お子さんの気持ちに寄り添いながら支援しています。				
認知・行動	○スケジュールの支援 絵カードやタイマーを使い、活動のスケジュールや始終、見通しを掲示しています。 ○個別支援 プットインや色、形、絵カード合わせをし、マッチング、認知能力の向上を支援しています。				
言語・コミュ ニケーション	○様々な年齢のお子さんとの関わり 6歳から18歳までの様々な年代のお子さんとの交流を大切にしています。 ○気持ちカードによるコミュニケーションツールの獲得 要求や、意思を自分の言葉でうまく表現できない場合に使用し、相手とのコミュニケーション方法の向上を支援しています。				
人間関係 社会性	○模倣行動の支援 複数人の遊びの中で、お子さんが興味をもって参加する取り組みに対し支援者が模範となり正しいルールや遊び方を習得 できるように社会性の発達を支援しています。 ○買物支援 買物へ行き、実際に買物メモを見ながら買う物を探したり、セルフレジの支払い方や、並び方、商品がどこにあるかわか らない時の店員への聞き方等体験を通し自立に向けて支援しています。 ○こども会議 リーダーを決め、お子さんたちで話し合いをして何をするのかを決めて活動します。 ○不登校支援 ぼじていで行っている支援を個別または少人数で支援してまいります。 主に、自宅から一歩外に出ること、共通の話題や好きな事から他者と関わりが持てるように支援してまいります。				

家族支援

- ○ご家庭での困りごと、利用のお子さんの発達状況や特性についての相談、ごきょうだいに対する助言やサポート
- ○母子通所を通し、親子の時間の確保、親子の関わり方等の助言や、サポート
- ○延長支援
- ○保護者様との面談

移行支援

- ○個人情報使用同意のもと、園や学校、他事業所と利用のお子さんの状況について情報を共有します。
- ○園や学校、他事業所と支援内容のすり合わせを行う等連携を図ります。
- ○進路や移行先の選択について利用しているお子さんとご家族の相談にのります。

地域支援・地域連携

- ○相談支援事業所と生活支援や発達支援における連携を図ります。
- ○利用児童が通う医療機関と情報連携を図ります。
- ○個別ケース検討のため、利用のお子さんに関する会議の開催、または参加します。

職員の質の向上

〇職員の資質向上の為、年に2回以上の社内研修の実施

〇ミーティングや個別支援計画会議にて、利用のお子さんの到達目標や支援の方法、方向性について検討し、職員間で理解と認識を共有しています。

主な行事

○課外活動(様々な地域の公園、工場見学、物作り体験、食事体験、乗り物体験、昼食、おやつクッキング、遠足、お泊り会、スキー場)

児童発達支援 ぽじてぃ 支援プログラム			作成日 2025年2月10日			
法人理念	笑顔・感謝・共生	事業所理念	みんなでできた	でできたを増やして自信につなげる		
支援方針	一人ひとりの特性や課題を見つめ楽しく支援を受けられる環境を創造します。利用しやすく、参加しやすい活動を提供 し、ご家庭以外で安心して過ごせる大人と居場所となるよう支援してまいります。また、就学に向けて排泄や身支度、準 備、生活リズムを身に着けられるように支援してまいります。					
営業時間	9:00~18:00 金・日	・祝定休	送迎の有無	あり(送迎範囲がある	るので要相談)	

本人支援	支援内容(5 領域)			
7.7.2.1%	7.00.10			
健康・生活	○構造化を意識した部屋のレイアウト			
	お子さんたちがわかりやすいように絨毯の色を4色に分け、活動スペースを示しています。			
	日直制度を実施し、お子さん達に会の進行をしてもらいます。			
	○食事・排泄の基本的な生活リズムを身に着ける支援			
	食具の使い方、排泄トレーニングの実施			
運動・感覚	○姿勢の保持			
	椅子や机を使用し、着席時の姿勢保持の練習			
	体操・サーキットトレーニング			
	体の使い方を習得するため、定期的に行っています。			
	○聴覚過敏なお子さんへの配慮			
	イヤーマフの使用や、場所移動等お子さんの気持ちに寄り添いながら支援しています。			
認知・行動	○スケジュールの支援			
	絵カードやタイマーを使い、活動のスケジュールや始終、見通しを掲示しています。			
	○個別支援			
	プットインや色、形、絵カード合わせをし、マッチング、認知能力の向上を支援しています。			
	○様々な年齢のお子さんとの関わり			
	主に2歳から6歳までのお子さんの交流と、月に1回の2歳から18歳までの様々な年代のお子さんとの交流の日を作			
	り、関わりを大切にしています。			
ニケーション	○気持ちカードによるコミュニケーションツールの獲得			
	要求や、意思を自分の言葉でうまく表現できない場合に使用し、相手とのコミュニケーション方法の向上を支援していま			
	す。			
	○模倣行動の支援			
	複数人の遊びの中で、お子さんが興味をもって参加する取り組みに対し支援者が模範となり正しいルールや遊び方を習得			
人間関係	できるように社会性の発達を支援しています。			
社会性	○買物支援			
	買物へ行き、実際に買物メモを見ながら買う物を探したり、セルフレジの支払い方や、並び方、商品がどこにあるかわか			
	らない時の店員への聞き方等体験を通し自立に向けて支援しています。			

家族支援

- ○ご家庭での困りごと、利用のお子さんの発達状況や特性についての相談、ごきょうだいに対する助言やサポート
- ○母子通所を通し、親子の時間の確保、親子の関わり方等の助言や、サポート
- ○延長支援
- ○保護者様との面談

移行支援

- ○個人情報使用同意のもと、園や学校、他事業所と利用のお子さんの状況について情報を共有します。
- ○園や学校、他事業所と支援内容のすり合わせを行う等連携を図ります。
- ○進路や移行先の選択について利用しているお子さんとご家族の相談にのります。

地域支援・地域連携

- ○相談支援事業所と生活支援や発達支援における連携を図ります。
- ○利用児童が通う医療機関と情報連携を図ります。
- ○個別ケース検討のため、利用のお子さんに関する会議の開催、または参加します。

職員の質の向上

- ○職員の資質向上の為、年に2回以上の社内研修の実施
- 〇ミーティングや個別支援計画会議にて、利用のお子さんの到達目標や支援の方法、方向性について検討し、職員間で理解と認識を共有しています。

主な行事

○課外活動(様々な地域の公園、工場見学、物作り体験、食事体験、乗り物体験、昼食クッキング、おやつクッキング、遠足、母子通所)